学校番号	112

令和８年度　社会科

教科	地理歴史科	科目	日本史演習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）　日本史探究 詳説日本史 授業用 整理ノート（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史演習では日本史探求の内容を深め、かつ「資料を読む・そして考える」学習を随時取り入れ、日本史学習への関心を高めます。中世（室町）から近世（江戸）までの学習については、地理･公民･特別活動との連携や国際環境との関連を重視する中､広い視野から多面的･多角的に歴史的事象を考察します。その際、「資料にふれる」や「主題を設定し探究する学習」を適宜取り入れます。

◇　板書やプリント等を併用して授業をします。

◇　教科書の他、副教材の図説や資料集も使用しますので、忘れずに持ってきて下さい。

通常の系統的学習の他、「歴史の考察」や「主題を設定し探究する学習」などではレポートの提出や発表を行う場合がありますので、自分の視点や考察した考えをまとめて表現できるよう念頭に置いて学習して下さい。

2　学習の到達目標

1）諸資料から歴史の情報を調べ、まとめる技能を身につける

2）世界史的視野から日本の歴史の展開を総合的に考察させ、日本の文化を伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、それらを他者に説明したり議論したりする思考力、表現力を養う

3）市民としての自覚を持ち、国際社会に主体的に生きる一員として、社会をよくしていこうとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。 日本の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用することを通じて歴史的事象を追究する方法を身につけている。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし､世界的視野に立って多面的に考察し日本の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに､追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め､意欲的に追究するとともに､市民としての自覚と国際社会に生きる社会の一員としての責任を果たそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第二部　中世	**第７章 武家社会の成長** **１ 室町幕府の成立** 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて理解する。 **２ 幕府の衰退と庶民の台頭** 土一揆・一向一揆などの発生と幕府の衰退を理解する。 **３ 室町文化** 書院造・華道・茶道などの成立・発展を理解する。 **４ 戦国大名の登場** 守護大名と戦国大名を対比させ理解させる。	a: 新武家政権の誕生を、旧政権と比較しその相違点を理解できたか さまざまな一揆と将軍権力の衰退などが対比的に理解できたか。 現代の日本文化の源流となる室町文化の意義が理解できたか。 b: 「下克上」をキーワードとして理解できたか。 c: 武家社会の成長に興味を持ったか。	定期考査	定期考査 レポート	レポート
	第三部　近世	**第８章 幕藩体制の確立** **１ 織豊政権** 大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義について理解する。	a: 政策の流れを資料から読み解くことができたか。 初期外交から鎖国について考察できたか。 b: 鉄南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察できたか。 検地や刀狩にみられる兵農分離策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を考察できたか。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

		2 桃山文化 新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、考察する。	桃山文化と、秀吉の朝鮮侵略や南蛮文化に着目して考察できたか。 幕府と藩・朝廷・寺社との関係、封建的身分秩序の形成などを考察できたか。 c: ヨーロッパ世界と日本の接触について興味を持ったか。			
二学期		**第 9 章 幕藩体制の成立と展開** **1 幕藩体制の成立** 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立を多面的・多角的に理解する。 江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めて影響と歴史的意義について理解する。 **2 幕藩社会の構造** 幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 **3 幕政の安定** 17 世紀後半から 18 世紀前半までの江戸幕府の安定期についてその平和と秩序確立の視点で考察する。 **4 経済の発展** 幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて理解する。	a: 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解できたか。 b: 文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察できたか。 農業生産の進展、産業の発達と多様化、商品経済・流通の発達、三都の発達に見える都市の経済を考察できたか。 c: 元禄文化について、町人の経済的繁栄や商業活動の拡大など資料を活用しながら、考察しようとしていたか。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

		5 元禄文化 経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。				
三学期	第三部 近世	**第 10 章 幕藩体制の動揺** **1 幕政の改革** 農村や都市が変化して幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が対処した諸改革についての特徴を理解する。 **2 宝暦・天明期の文化** 江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連付けて考察する。 **3 幕府の衰退** 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、地方からの視点を踏まえて理解する。 **4 化政文化** 化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	a: 農村の家内工業から近代工業の芽生えが始まったことについて理解できたか。 b: 幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革・田沼時代・寛政の改革を中心に考察できたか。 列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や失政を踏まえて、幕府の衰退をみることができたか。 諸藩の財政・軍事再建から雄藩が出現する過程を考察できたか。 幕藩体制に批判的な化政文学、洋学・国学など新たな学問・思想、寺子屋などの庶民教育機関の普及、浮世絵に象徴される出版文化の発達などに着目して考察することができたか。 c: 幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が対処した諸改革について関心を持ったか。	定期考査	定期考査 レポート	レポート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度